

令和 7 年 1 月 2 4 日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立原町小学校
学校長 加藤 明恵

令和 6 年度 目黒区立原町小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第 1 回実施日時 令和 6 年 1 2 月 2 日 (土) 午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 3 時 0 0 分
- ・学校経営方針・学校行事・児童の様子・学校の雰囲気について
 - ・校内研究・人権教育・体力向上・地域との連携などについて
- (2) 第 2 回実施日時 令和 7 年 2 月 8 日 (土) 午前 1 0 時 3 0 分～午前 1 3 時 0 0 分
- ・学校経営方針・学校行事・児童の様子・学校の雰囲気について
 - ・校内研究・人権教育・体力向上・地域との連携などについて

2 参加者

- ・学校評議員 梅井 泰
- ・学校評議員 植 英俊
- ・学校評議員 藤本 美恵子
- ・学校評議員 小椋 恵子
- ・学校評議員 乗松 文江

3 評価の結果等 ※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	四者※による学校評価アンケートの結果分析 ◎（成果）、●（課題）、 ⊙（成果と課題の両者を含む）	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見															
学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて <table><tr><td>対象</td><td>結果</td><td>差</td></tr><tr><td>保護者</td><td>82%</td><td>- 7</td></tr><tr><td>下学年</td><td>84%</td><td>+ 1</td></tr><tr><td>上学年</td><td>89%</td><td>- 8</td></tr><tr><td>地域</td><td>88%</td><td>- 2</td></tr></table>	対象	結果	差	保護者	82%	- 7	下学年	84%	+ 1	上学年	89%	- 8	地域	88%	- 2	◎昨年度の課題とした下学年の児童のポイントが僅かに上昇した。 ●上学年の雰囲気や学習態度が望ましくないうことがあった。他者に迷惑をかけたり目に余る行動が周囲の児童が困っていると思われる。		・明るく親しみやすい。 ・野球・サッカー・もちつきや盆踊りなどを校庭で行うなど地域の中心になっている。 ・以前よりも落ち着いた印象。 ・学校のまわりが綺麗。
対象	結果	差																
保護者	82%	- 7																
下学年	84%	+ 1																
上学年	89%	- 8																
地域	88%	- 2																
I 教育目標について ・教育目標、時程、教育内容全体について <table><tr><td>対象</td><td>結果</td><td>差</td></tr></table>	対象	結果	差	◎保護者の数値はほぼ変化なし。 ●地域の数値が20ポイント減少した。ホー	ホームページのアップ回数を増やすなど、学校の様子をわかりやすく発信するよう	・40分だと少し短いと感じる。学年が上がると余計に感じる。 ・教科によって考え方												
対象	結果	差																

<table><tr><td>保護者</td><td>72%</td><td>- 0</td></tr><tr><td>地域</td><td>58%</td><td>- 20</td></tr><tr><td>教員</td><td>88%</td><td>- 2</td></tr></table>	保護者	72%	- 0	地域	58%	- 20	教員	88%	- 2	ムページやホーム&スクールで発信するようになり紙媒体でなくなり情報伝達しにくくなっていると思われる。	になお一層努力する。	がいろいろある。
保護者	72%	- 0										
地域	58%	- 20										
教員	88%	- 2										
Ⅱ 心の教育について ・道徳科(道徳)の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について <table><tr><td>対象</td><td>結果</td><td>差</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69%</td><td>+ 7</td></tr><tr><td>教員</td><td>92%</td><td>+ 12</td></tr></table>	対象	結果	差	保護者	69%	+ 7	教員	92%	+ 12	◎道徳授業地区公開講座「二重障害のピアニスト」講演をはじめ、道徳の授業を丁寧に実施してきた。保護者も大勢参観者を得られた。 ●道徳の授業を活性化して、実践力につなげていく。	校内研修を継続的に 行い、教員に対し、道徳教育の重要性について理解を深めさせていく。 全学年で、年間35時間の授業配分について計画的に実施していかせるように、学校を挙げて取り組む。	・道徳授業地区公開講座を通して、学校の良い状況が伝わってきた。 ・内容項目を学年の状況によって分けているのはとても良い。 ・このまま行って欲しい。
対象	結果	差										
保護者	69%	+ 7										
教員	92%	+ 12										
Ⅲ 学習指導について ・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、学習タイム、主体的に学習に取り組む態度等の取組について <table><tr><td>対象</td><td>結果</td><td>差</td></tr><tr><td>保護者</td><td>66%</td><td>+ 1</td></tr><tr><td>教員</td><td>80%</td><td>- 15</td></tr></table> ・自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について	対象	結果	差	保護者	66%	+ 1	教員	80%	- 15	◎どの教科でも ICT を活用してわかりやすい授業を展開してきた。特に学習用情報端末の活用が活発になっている。 ◎運動会や学習発表会ではどの学年も児童が主体的に考えて内容を作り上げた。 ◎キャリア教育として5年生が住区祭りでお店を出店したり、6年生がドリームマップ学習に取り組んだ。 ●一部の児童に補習学習期間はあるが、全体の児童に学力向上につながる取り組みが少なかった。	原町タイム、学習タイムを有効に生かし、児童の学力を向上させていく。	・学習用情報端末が中心になり、少し心配である。書く内容も入れたい。 ・端末がきっかけで友達同士のトラブルが起きないか不安。 ・元々あった時間を削ることで、弊害が出なければ良い。 ・原町タイム・ライフスキルトレーニングは続けて欲しい。
対象	結果	差										
保護者	66%	+ 1										
教員	80%	- 15										
Ⅳ 体力向上・健康教育について	◎体力の高い学校、元気な学校として地域の	引き続き、現在の体力向上に取り組んでい	・ペースランニング・縄跳び集会など継続し									

・体力向上、健康の促進 に向けた取組につい て	理解は得られ 1 ポイ ントアップした。今年 度新たな取り組みと して 週間を設 けることができた。体 力向上に取り組めて いる。	く。	て行っており、良い取 組とを感じる。															
V 特別活動について ・学校行事の充実、異学 年交流活動、クラブ・ 部活動の活性化など について <table><tr><td>対象</td><td>結果</td><td>差</td></tr><tr><td>保護者</td><td>79%</td><td>-4</td></tr><tr><td>地域</td><td>78%</td><td>+5</td></tr><tr><td>下学年</td><td>92%</td><td>-2</td></tr><tr><td>上学年</td><td>98%</td><td>+4</td></tr></table>	対象	結果	差	保護者	79%	-4	地域	78%	+5	下学年	92%	-2	上学年	98%	+4	◎なかよしっこ班清掃 を取り入れ、異学年 交流も兼ね、上手に掃除 をするようになった。 ●保護者のポイントが 下がっているので、肯 定的回答が再び得ら れるように取り組ん でいく。	昨年度に続き、地域に 開かれた学校を目指 し、特別活動を対外的 にアピールすべく教 育方針に基づいて進 めていく。	・縦割り班はあった方 が良い。高学年を中心 に、リーダーシップを育 てることができる。
対象	結果	差																
保護者	79%	-4																
地域	78%	+5																
下学年	92%	-2																
上学年	98%	+4																
VI 学校生活全般について <生活指導> ・生活規律の徹底、いじ めや不登校の現状と対 応、教員の関わり方、 特別支援教育への取組 などについて	◎全体の児童は概ねル ールを守って行動で きている。 不登校はいるが諸機 関と連携し徐々に改 善している。 いじめ事案も早期発 見、早期解決できてい る。 ●来客や教職員に対す る挨拶に課題が残る。 校内規律の徹底を図 っていく。	朝のあいさつ運動や、 日常の生活指導につ いて個々の意識を高 めるべく取り組んで いく。	・落ち着いている。 6年生がまっすぐ帰 らず、遊んでいる状況 を見受けるが、ランラ ンひろばなどの受け 皿があるのは良い。 ・朝の挨拶が元気で良 い。															
<防災教育・安全指導> ・事故や災害に関する安 全教育や情報モラル教 育の充実、安全管理な どについて	◎今年度は、避難訓練の 内容を見直して経験 したことのないケー ス（放送機器が使えな い状況や特別教室で 火災が発生など）で訓 練を実施した。 また、初めて PTA に よる通学路安全点検	災害発生時に身を守 る方法、避難所での生 活などについての授 業や訓練を継続し、防 災総合的に意識を高 めていく。	・避難訓練を中心に、是 非とも続けて欲しい。 ・起震車体験は良いが、 地域での体験施設が なくなってしまった ので、区での取組がも っとあると良い。															

	の実施をした。警察や区役所も合同で実施した。		
<幼・保・小・中連携> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について	◎幼保連携の一つとして保育園の児童を招いて「もうすぐ1年生へ学校案内」を実施した。 また、小中連携で中学校と「いじめ会議」「職場体験受け入れ」を行っている。 ●学習発表会に幼稚園を招待できるとよい。	来年度も引き続き、小中の連携・幼稚園保育園と連携をしていく。	・児童同士の不安はあると思うが、こういった経験があると児童は楽しい。必要であると感じる。 - 未就学児童の運動会などを復活してくれると嬉しい。
VII 情報の発信、家庭・地域との連携について ・学校の情報発信や地域人材の活用、保護者の協力状況、PTA 活動の充実などについて	◎学校だより、学年だより、PTA だよりがホーム&スクールによる配信になった。 ホームページは毎日更新している。 ●ペーパーレスが進んで、ほとんどのお便りは配信になったが、その一方で読まない人も増えた。	より使いやすいホームページになるよう更新をしていく。	・学校だよりの掲示は良い。今の状況で良い。 ・地域の良さを伝える取組などがあると良い。
VIII 教員の人材育成について ・授業参観・服務研修・日常の職務について、専門性の育成、教育公務員の自覚について	◎OJT 研修・服務研修・授業実践・、若手教員を通して人材を育成できた。校内若手教授育成のための「わかばの会」も実施し、授業力向上につなげることができた。	OJT 研修について、内容の精選・特化を図り、他の研修実践と共に定期的かつ積極的な運営を進めていく。同時に服務研修も行っていく。	・専科の授業があるのは良い。 ・十分頑張っているが、今以上に先生方が頑張って取り組むとっと良くなる。 ・先生の教育ということで、情報共有などは良い取組。

Ⅸ 教員の働き方改革について ・校務分掌の簡略化・会議の精選・勤務時間・退勤時刻の管理及び最適化について	◎介護や育児のための休暇を取得し易い環境。以前に比べ退勤時刻は早くなっている。 ●休日の地域行事への参加は個人差がある。強制できない難しさがある。	教員同士での情報共有の効率化を図った り、前年踏襲の業務を価値や意義から、 取組や取組方法について見直すことを続けていく。	・外部の方への対応などに、先生方のゆとりを感じる。 ・ペーパーレスも良いが、紙も良い面はあると思う。
---	---	--	--